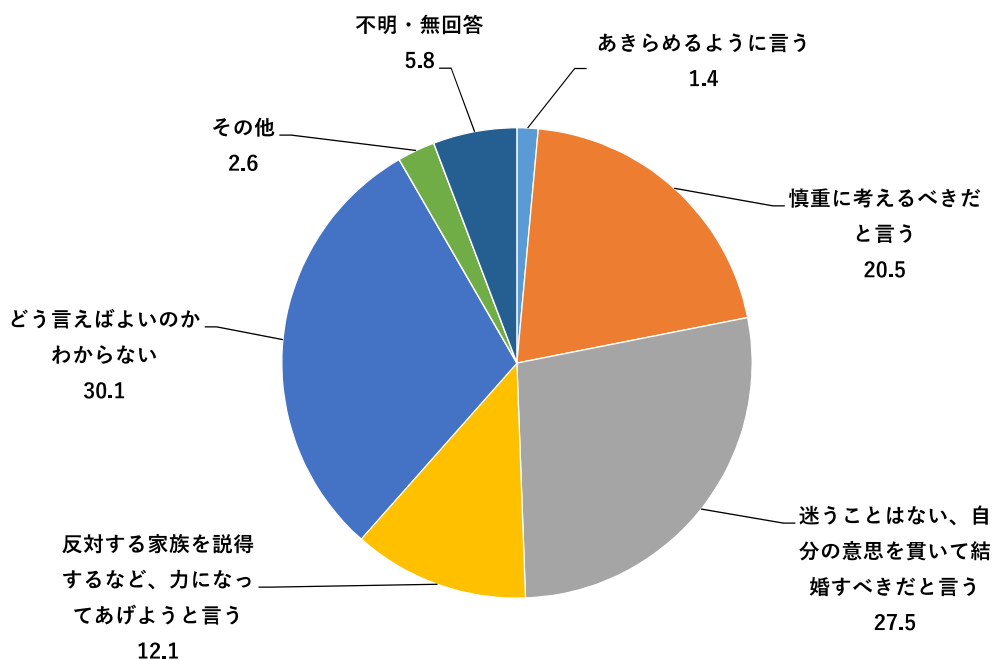


5 同和地区出身者との結婚を家族から反対されている親戚の相談への対応

問5 結婚相手が同和地区出身であるということを理由に家族から結婚を反対されている親戚がいるとします。あなたがその方から相談を受けた場合、どのような態度をとるとお考えですか。最もお考えに近いものを選んでください。（1つだけに○）

[図5-1 同和地区出身者との結婚を反対されている親戚の相談への対応]

N=694 単位：%



同和地区出身者との結婚を家族から反対されている親戚の相談を受けた際の対応で、最も多かったのは「どう言えばよいかわからない」で 30.1%、次いで多いのは「迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚すべきだと言う」で 27.5%である。そして、「慎重に考えるべきだと言う」が 20.5%で、最も積極的な対応である「反対する家族を説得するなど、力になってあげようと言う」は 12.1%となっている。

「あきらめるように言う」「慎重に考えるべきだと言う」「どう言えばよいかわからない」の割合を足すと 52.0%、「迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚すべきだと言う」と「反対する家族を説得するなど、力になってあげようと言う」を足すと 39.6%と、同和地区出身者との結婚に関する相談に対して、消極的な対応をとるという回答の方が多数派となっている。

[表5-1 同和地区出身者との結婚を反対されている親戚に対する態度（性・年齢別）]

(上段：人、下段：%)

		回答者数	うあきらめるように言う	と慎重に考えるべきだ	婚分迷うことではない、自分の意思を貫いて結婚すべきだ	迷うことではない、力になってあげようと言う	反対する家族を説得するなど、力になってあげようと言う	わからぬ、いまいいか	その他	不明・無回答
総数		694 100.0	10 1.4	142 20.5	191 27.5	84 12.1	209 30.1	18 2.6	40 5.8	
性別	男性	291 100.0	5 1.7	59 20.3	109 37.5	26 8.9	70 24.1	6 2.1	16 5.5	
	女性	379 100.0	5 1.3	78 20.6	75 19.8	53 14.0	135 35.6	11 2.9	22 5.8	
年齢別	18-19歳	33 100.0	— —	4 12.1	13 39.4	7 21.2	9 27.3	— —	— —	
	29歳代	59 100.0	1 1.7	8 13.6	19 32.2	12 20.3	17 28.8	2 3.4	— —	
	30歳代	71 100.0	1 1.4	19 26.8	20 28.2	10 14.1	17 23.9	2 2.8	2 2.8	
	40歳代	97 100.0	3 3.1	24 24.7	20 20.6	15 15.5	34 35.1	— —	1 1.0	
	50歳代	117 100.0	3 2.6	20 17.1	29 24.8	16 13.7	42 35.9	4 3.4	3 2.6	
	60歳代	155 100.0	2 1.3	25 16.1	48 31.0	17 11.0	48 31.0	5 3.2	10 6.5	
	70歳以上	182 100.0	1 0.5	44 24.2	47 25.8	14 7.7	49 26.9	5 2.7	22 12.1	

性別で比較すると、「迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚すべきだと言う」は男性の方が多く、「反対する家族を説得するなど、力になってあげようと言う」と「どう言えばよいかわからない」は、女性の方が多い。そして、「あきらめるように言う」「慎重に考えるべきだと言う」「どう言えばよいかわからない」の割合を足した消極的対応の割合は、男性 46.1%、女性 57.5%である。

年齢別でみると、「慎重に考えるべきだという」は 30 歳代で最も多く、「迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚すべきだと言う」と「反対する家族を説得するなど、力になってあげようと言う」は、18-19 歳で最も多くなっている。そして、「どう言えばよいかわからない」は 50 歳代で最も多い。年齢別では、「迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚すべきだと言う」や「反対する家族を説得するなど、力になってあげようと言う」といった、同和地区出身者と結婚しようとする親戚を支持し、支援する対応をとるという回答が若い年齢層で多いといえる。

なお、「あきらめるように言う」「慎重に考えるべきだと言う」「どう言えばよいかわからない」の割合を足した消極的対応の割合は、18-19 歳 39.4%、20 歳代 44.1%、30 歳代 52.1%、40 歳代 62.9%、50 歳代 55.6%、60 歳代 48.4%、70 歳以上 51.6%であり、消極的対応は 40 歳代で 6 割台となっている。

[表5-2 同和地区出身者との結婚を家族から反対されている親戚の相談への対応
(経年変化)]

(単位：%)

		回 答 者 数 (人)	う あ き ら め る よ う に 言 う	と 慎 重 に 考 え る べ き だ と 言 う	婚 分 迷 う こ と は な い と 言 う 結 自	す あ る な ど 、 力 に な っ て あ げ よ う と 言 う	反 対 す る 家 族 を 説 得 す る な ど 、 力 に な っ て あ げ よ う と 言 う	わ ど う 言 え ば よ い の か わ か ら な い	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
問5 結婚相手が同和地区出身であるということを理由に家族から結婚を反対されている親戚がいるとします。あなたがその方から相談を受けた場合、どのような態度をとると思いますか。最もお考えに近いものを選んでください。(1つだけに○)	2017年	836	1.4	26.4	28.1	8.9	25.6	2.5	7.1	
	2022年	694	1.4	20.5	27.5	12.1	30.1	2.6	5.8	

前回調査の結果と比べると、「慎重に考えるべきだという」は6ポイントほど減少し、「反対する家族を説得するなど、力になってあげようと言う」が3ポイントほど増加しており、同和地区出身者との結婚を肯定的にとらえる回答がやや増えているが、「どう言えればいいのかわからない」という回答も4.5ポイント、増加している。